

巻頭言



理工研究域長
RSET 運営会議議長

山崎 光悦

金沢大学理工研究域附属サステナブルエネルギー研究センター (Research center for Sustainable Energy and Technology: 略称 RSET) が平成 23 年 4 月に発足して初めての研究業績集をこのたび取りまとめ、冊子体として刊行する運びとなりました。

金沢大学は、真理の探究に関わる基礎研究から技術に直結する実践研究までの卓越した知の創造に努め、それらにより新たな学術分野を開拓し、技術移転や産業の創出等を図ることで積極的に社会に還元することを目指しております。「強い研究分野をさらに強くする」との中村信一学長のリーダーシップのもと、理工研究域が誇る卓越した研究分野のひとつ、再生利用可能エネルギー分野をさらに強くするとの戦略のもと、全学戦略ポスト、理工研究域戦略ポストを活用して 10 年間の時限付きで昨年 4 月に、RSET を発足させました。

RSET は、太陽光や風水力発電、バイオマスなど再生利用可能エネルギーや地球温暖化防止のための炭素循環などに関する研究開発を通して本学のプレゼンス、理工研究域の強い分野を外に示すために設置しました。RSET は、有機薄膜太陽電池部門、自然エネルギー活用部門、炭素循環技術部門、エネルギー・環境材料部門、バイオマス利用部門の 5 部門で構成し、専任教員 5 名 (内 3 名はテニュアトラックポジション、1 名は任期付きポジション)、兼任教員 13 名、協力教員 22 名の総勢 40 名の研究集団を構成しております。

今回のような研究業績集・自己点検書は今後、毎年刊行される予定で、教員個人、研究部門ごと、及び RSET 組織体としての全体の研究活動についての内部評価、そして外部評価の基礎データとして活用され、本研究センターのさらなる進化、未来の発展に寄与することを期待しております。